

非ホジキンリンパ腫 DA-EPOCH-R 導入

患者ID: @PATIENTID 1 コース目
 患者氏名: @PATIENTNAME 1コース: 21日間 目標: 4~8コース

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)	7/30アレルギー ※必ず無しを確認
HEIGHT01_Dq	WEIGHT01_Dq	#VALUE!	

使用薬剤: リツキシマブ (Rituximab): リツキシマブBS注 100mg/10mL/V、500mg/50mL/V
 エトポシド (VP-16): エトポシド点滴静注液 100mg/V/5mL
 ドキソルビシン (ADM): ドキソルビシン塩酸塩注 10mg/V、50mg/V
 ビンクリスチン (VCR): ビンクリスチン注 1mg/V
 シクロホスファミド (CPA): シクロホスファミド注 100mg/V、500mg/V
 プレドニゾン (PSL): 20mg/A、10mg/A

使用基準: CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫

- ※ **Infusion reaction**に要注意。リツキシマブBS投与時はモニターによるバイタルチェックを推奨。
 重度のInfusion reaction(低酸素血症、肺浸潤、急性呼吸促拍症候群、心筋梗塞、心室細動、心原性ショック)の発現の報告が**初回の投与中又は投与開始後24時間以内**に多い。約90%の患者で初回投与時に発現。
- ※ **腫瘍崩壊症候群**に要注意(血液中に大量の腫瘍細胞のある患者で初回投与後24時間以内に高頻度)
 腎不全、高K血症、低Ca血症、高尿酸血症、高Al-P血症
- ※ HBe抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと
- ※ ビンクリスチン 最大投与量; 2mg/bodyを越えないこと
- ※ プレドニン B型肝炎; 核酸アナログ製剤を併用、糖尿病; 減量もしくは中止
- ※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍(PPIなど)、口内炎、便秘の予防について考慮すること
- ※ G-CSFをDay6~nadir以降好中球数>5000/ μ Lまで継続

薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
リツキシマブBS	375 mg/m ²	#VALUE!		1
エトポシド	50 mg/m ²	#VALUE!		4 ~ 7
ドキソルビシン	10 mg/m ²	#VALUE!		4 ~ 7
ビンクリスチン	0.4 mg/m ²	#VALUE!		4 ~ 7
シクロホスファミド	750 mg/m ²	#VALUE!		8
プレドニン	60 mg/m ²	#VALUE!		4 ~ 8

<< タイムスケジュール >> **リツキシマブBS、EPOCHの開始時刻を別々に入力してください**
 ※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日 (Day1): 1月1日 (火)

点滴前内服
 ① カロナール錠 200mg 2T 1x (1)
 ② ポララミン錠 2mg 1T 1x (1)

0時00分 ① 生理食塩液 100mL + サクシゾン 300mg
 30分で点滴静注

0時30分
 ② 5%ブドウ糖液 0mL
 + リツキシマブBS 0mg 0.0mL

↓ 50mL/h rで30分点滴静注
 ↓ 患者の状態を観察しながら、30分毎に50mL/h rずつ上げることができる
 ↓ 最大400mL/h rまで上げることができる
 徐々に投与速度を上げて点滴静注
 ※下記は2回目以降の投与
 ↓ 100mL/h rで30分点滴静注
 ↓ 患者の状態を観察しながら、30分毎に100mL/h rずつ上げることができる
 ↓ 最大400mL/h rまで上げることができる

③ 生理食塩液 50mL
 フラッシュ

Day 4 1月4日 (金)

PICC① PIGC②

0時00分 ① 生理食塩液 50mL + グラネセロン 1A + プレドニン 0mg
 15分で点滴静注

0時15分 ② 生理食塩液 500mL
 + エトポシド 0mg 0.0mL
 + ドキソルビシン注 0mg
 + ビンクリスチン注 0.00mg

中心静脈ルートより輸液ポンプを使用し24時間

Day 5 ~ 7 1月5日 (土) ~ 1月7日 (月)

PICC① PIGC②

0時00分 ① 生理食塩液 50mL + グラネセロン 1A + プレドニン 0mg
 15分で点滴静注

0時15分 ② 生理食塩液 500mL
 + エトポシド 0mg 0.0mL
 + ドキソルビシン注 0mg
 + ビンクリスチン注 0.00mg

中心静脈ルートより輸液ポンプを使用し24時間

Day 8 1月8日 (火)

PICC① PIGC②

0時15分 ① 生理食塩液 50mL + グラネセロン 1A + プレドニン 0mg
 15分で点滴静注

0時30分 ② 生理食塩液 250mL + シクロホスファミド 0mg
 30分で点滴静注

1時00分 ③ 生理食塩液 50mL
 フラッシュ

REFERENCE

Wyndham H, Wilson, Michael L, Grossbard, Stefania Pittaluga, et al. BLOOD, 2002; 99: 2685-2693
 Dose-adjusted EPOCH chemotherapy for untreated large B-cell lymphomas: a pharmacodynamic approach with high efficacy
 Wyndham H, Wilson, George Bryant, Susan Bates, et al. J Clin Oncol 11: 1573-1582, 1993
 EPOCH Chemotherapy: Toxicity and Efficacy in Relapsed and Refractory Non-Hodgkin's Lymphoma
 2011年化学療法プロトコル審査委員会承認: 2011年2月14日 更新: 2018年9月10日